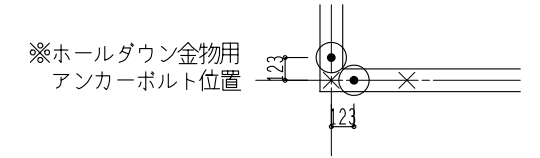
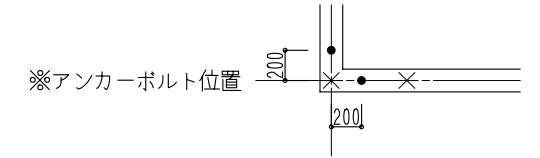


基礎伏図

全周床下換気工法
 アンカーボルトの出：基礎天端より120
 SS150P・・・柱下部
 SS100P・・・アンカーボルト部・土台継手
 その他1000mm以内
 基礎立上り中：150

<基礎伏図について特記なき場合に限り下図による>



凡例	
	アンカーボルト A-40 L=400 埋込長さL=250
	鋼製束 @1000
	ホールダウン金物用アンカーボルト A-70 埋込長さL=360
	床下通気口600×350
	大引き方向

特記事項	
<基礎伏図について特記なき場合に限り下記による>	
1.	外周基礎FG1
2.	内周基礎FG2
3.	コンクリート：10℃以上24N/mm ² 2以上10℃未満27N/mm ²
4.	鉄筋：SD295
5.	地盤の調査方法：スウェーデン式サウンディング試験
地盤の種類 現場調査	
許容地耐力 $f_e=50.00 \text{ kN/m}^2$	
6.	基礎巾150mm 基礎の位置は、芯から外周75mm内周75mm
7.	アンカーボルトは、Zマーク同等認定品とする。
位置は、柱芯から200mm 間隔2,000mm 土台継手付近とし	
埋込み長さは、250mmとする。	
8.	基礎スラブ【仕様1】を標準とする。基礎天端-350
9.	外部立上がり部位：モルタル金ゴテ押え
10.	ホールダウンHD10 (10kN) はフリーダ コーナF-C10 (12.5kN) 等の同等品以上の強度金物変更可

変更箇所	日付	担当	変更理由	承認	承認	検図	設計
改訂							

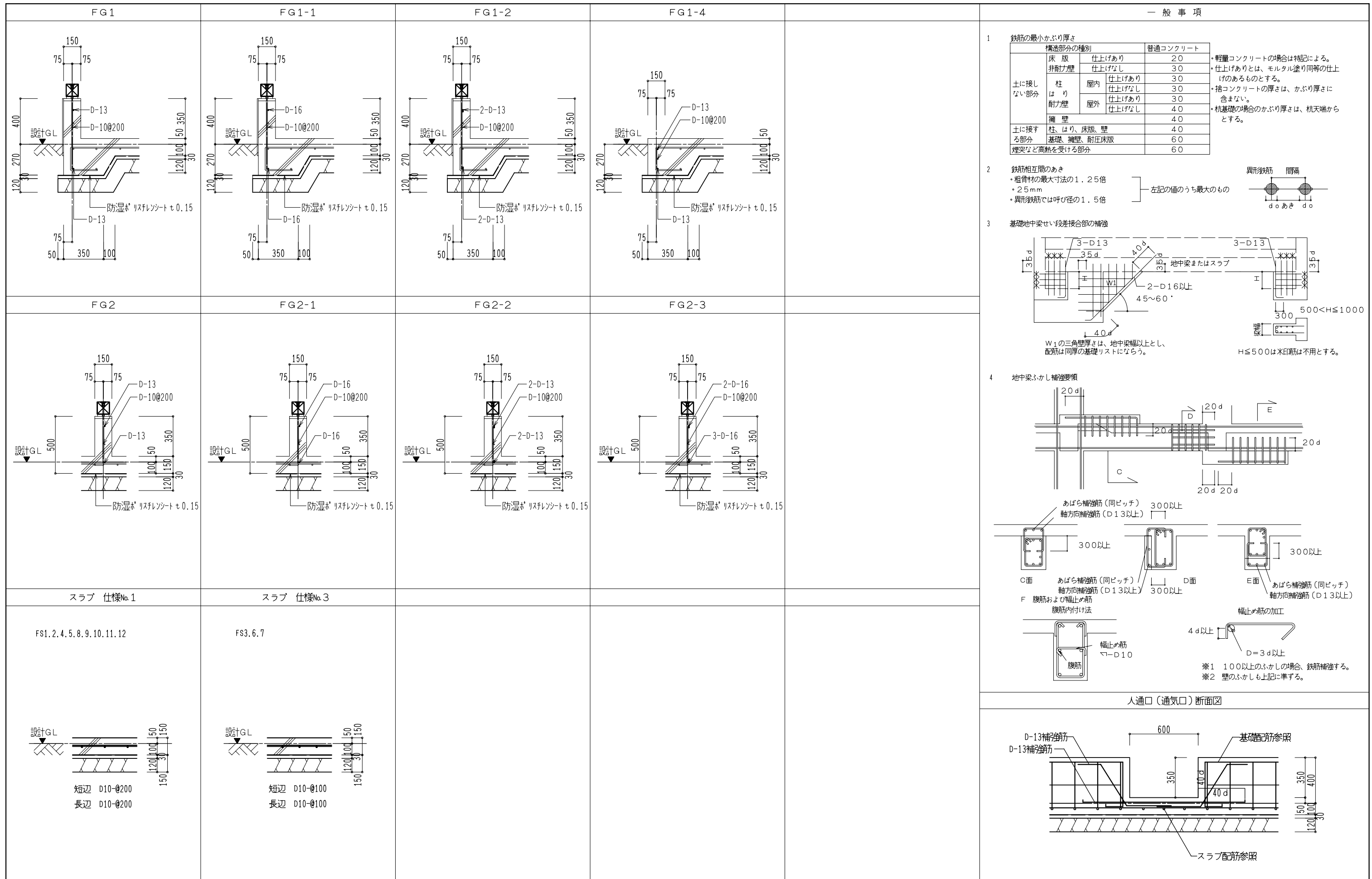
名住協地域型ブランド住宅推進協議会
 NagoyaCity Housing C.C.
 名古屋市住宅建設協同組合
 愛知県知事認可(51指令通第4-8号)

スケール
 s:1/100
 作成日
 平成 24年 4月 25日

製図
 現場名
 地域ブランド事業【標準仕様】CASBEE基準
 図名
 基礎伏図

LAND MARK
 ランドマーク 一級建築士事務所
 愛知県知事登録 (い-21) 第 9632 号
 一級建築士大臣登録 第 244879 号 堀 敏男
 〒461-0040 TEL (052) 725-3390
 名古屋市東区矢田一丁目9番29号 FAX (052) 725-3391

図番
 K-01



変更箇所	日付	担当	変更理由	承認	承認	検図	設計
改訂							

名住協地域型ブランド住宅推進協議会
NagoyaCity Housing C.C.
 名古屋市住宅建設協同組合
 愛知県知事認可(51指令通第4-8号)

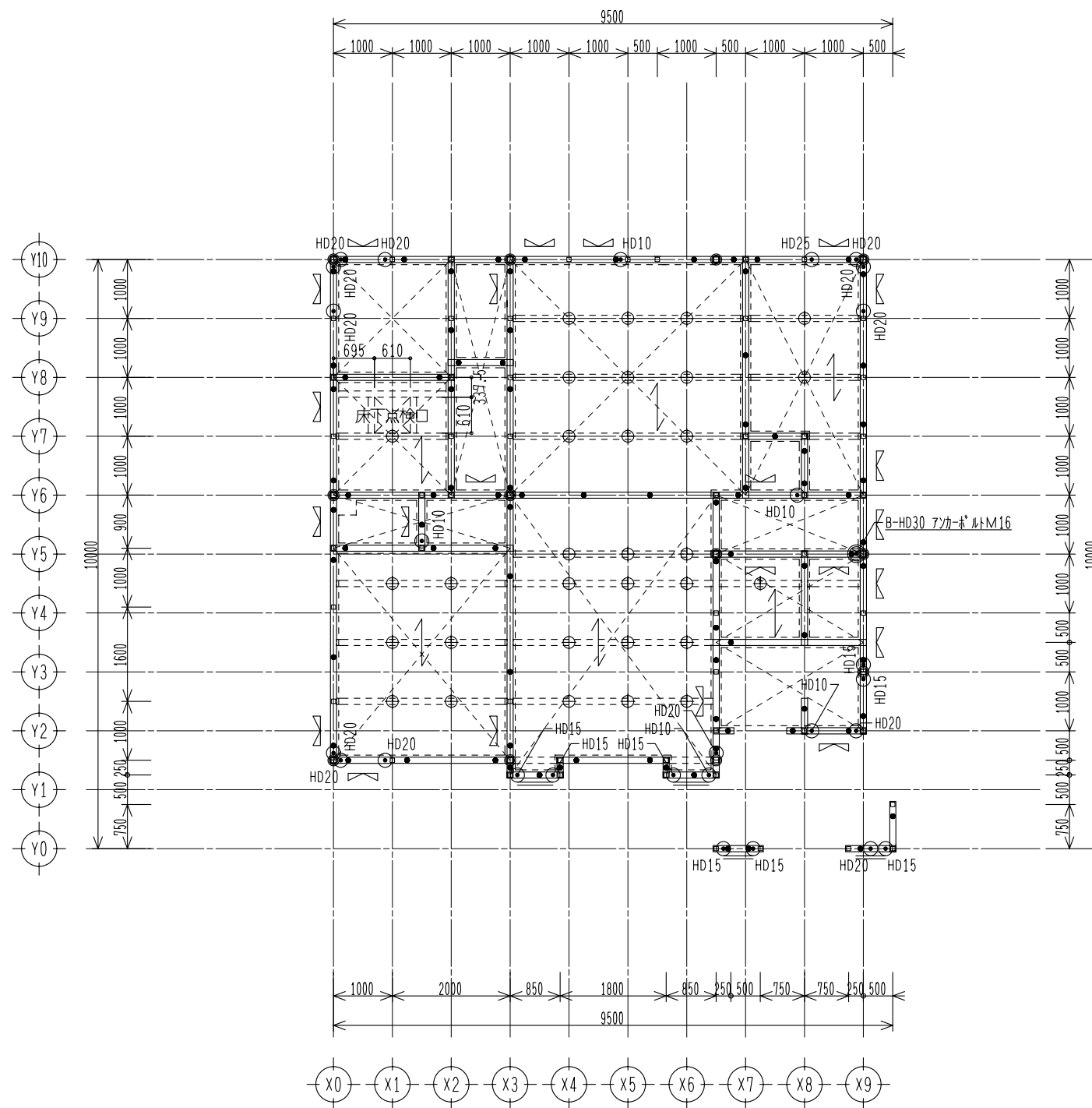
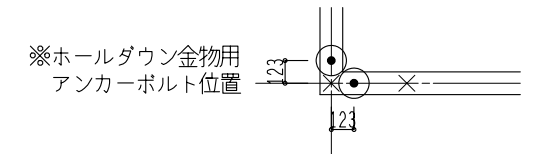
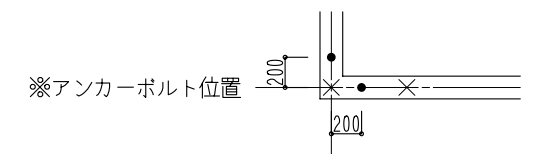
スケール
 s:1/30
 作成日
 平成 24年 5月 31日

製図
 現場名
 地域ブランド事業【標準仕様】CASBEE基準
 図名
 基礎断面図

LAND MARK
 ランドマーク 一級建築士事務所
 愛知県知事登録 (い-21)第 9632号
 一級建築士大臣登録 第 244879号 堀 敏男
 〒461-0040 TEL (052)725-3390
 名古屋市中区矢田一丁目9番29号 FAX (052)725-3391

図番
 K-02

<基礎伏図について特記なき場合に限り下図による>

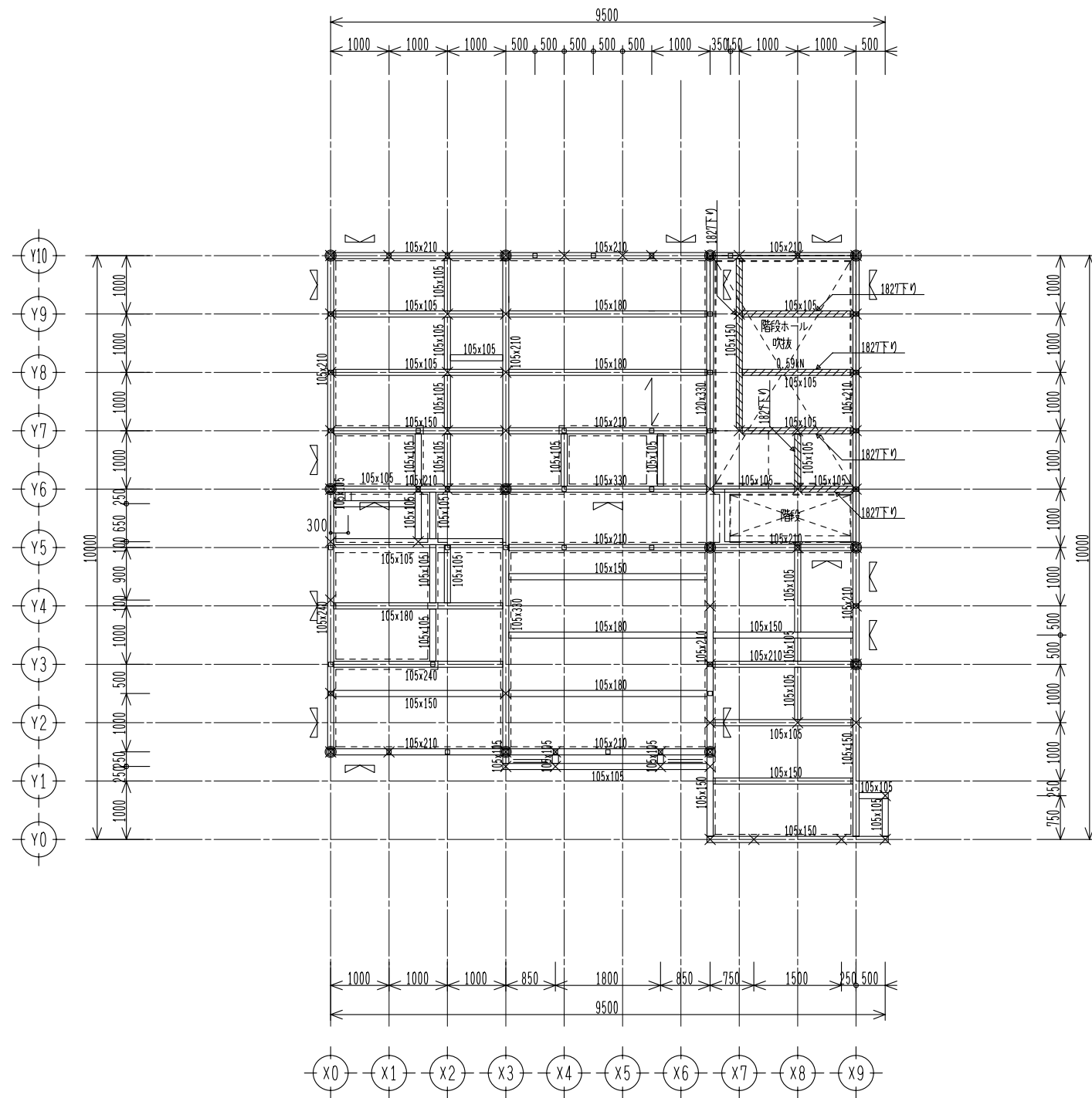


1階床伏図

凡例	
⊙	通し柱 120×120
△	隅柱 120×120
□	管柱 105×105
≡	土台 105×105
□□□□	大引き 105×105@1000
●	アンカーボルト A-40 L=400 埋込長±L=250
⊕	鋼製束 @1000
HD●	ホールダウン金物用アンカーボルト A-70 埋込長±L=360
-----	合板掛け 30×90
↙↘	構造用合板合板 t=28mm T&G (さね) 加工
△	耐力壁 木材45×105片方向
▽	耐力壁 木材45×105たすき掛
≡	耐力壁 JAS構造用合板 t=9mm

特記事項	
1.	床下点検口4方補強材 105×105

改訂	変更箇所	日付	担当	変更理由	承認	承認	検図	設計	名住協地域型ブランド住宅推進協議会 NagoyaCity Housing C.C. 名古屋市住宅建設協同組合 愛知県知事認可(51指令通第4-8号)	スケール s:1/100 作成日 平成 24年 4月 25日	製図 現場名 地域ブランド事業【標準仕様】CASBEE基準 図名 1階床伏図	LAND MARK ランドマーク 一級建築士事務所 愛知県知事登録 (い-21) 第 9632 号 一級建築士大臣登録 第 244879 号 堀 敏男 〒461-0040 TEL (052) 725-3390 名古屋市中区矢田一丁目9番29号 FAX (052) 725-3391	図番 K-3



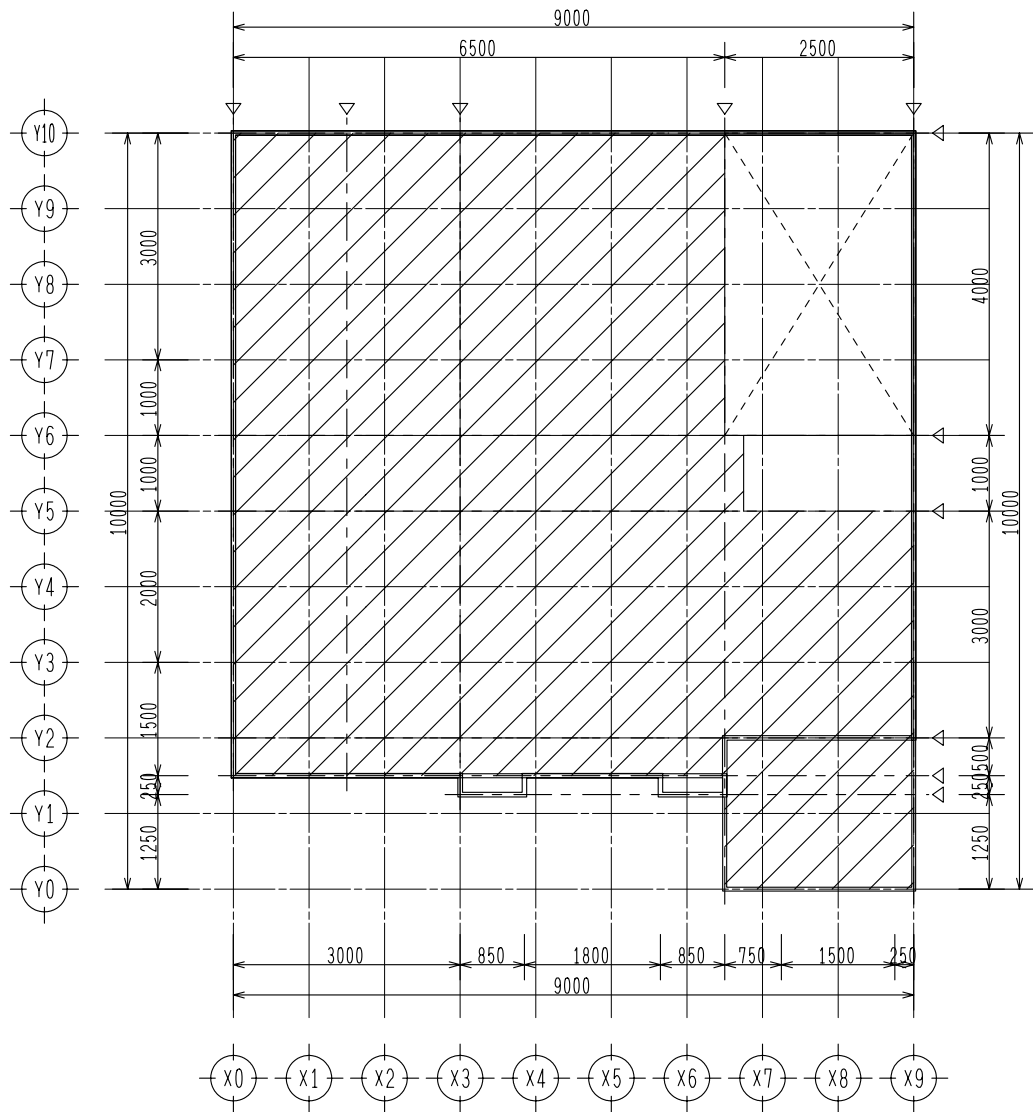
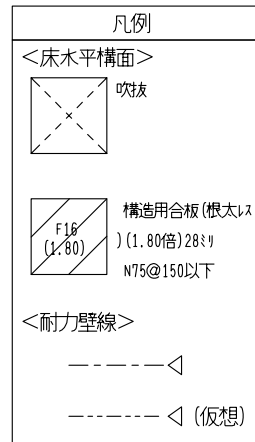
2階床伏図

凡例	
⊙	通し柱 120×120
△	隅柱 120×120
□	管柱 105×105
×	下階柱
----	合板掛け 30×90
↗	構造用合板合板 t=28mm T&G (さね) 加工
▽	耐力壁 木材45×105片方向
▽	耐力壁 木材45×105たすき掛
====	耐力壁 JAS構造用合板 t=9mm
~~~~	準耐力壁 腰壁等 JAS構造用合板 t=9mm
○—○	火打金物 HB L=990
↖	垂木 38×89 @455

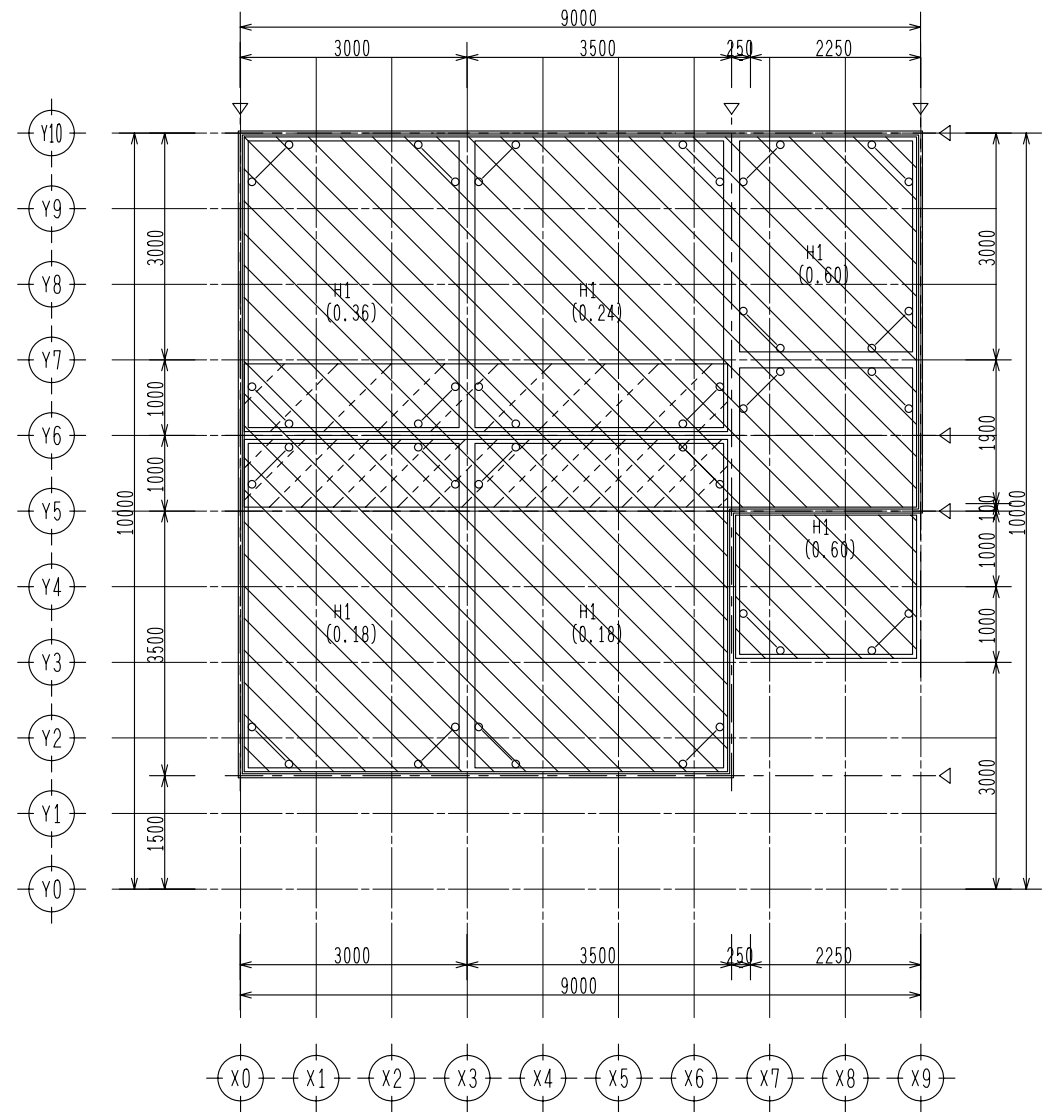
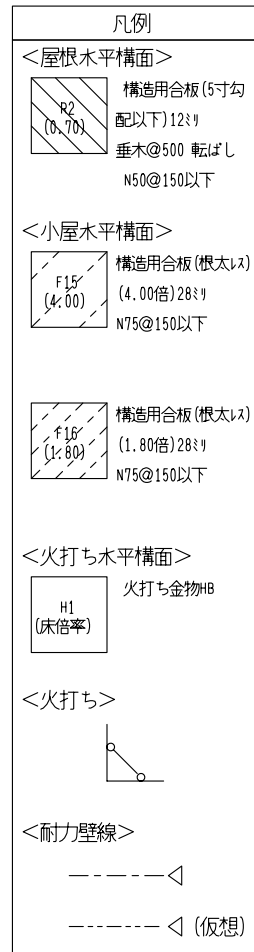
特記事項	
1. 横架材端部接合部は全て羽子板ボルトとする。	

改訂	変更箇所	日付	担当	変更理由	承認	承認	検図	設計	名住協地域型ブランド住宅推進協議会 <b>NagoyaCity Housing C.C.</b> 名古屋市住宅建設協同組合 愛知県知事認可(51指令通第4-8号)	スケール	製図	現場名 地域ブランド事業【標準仕様】CASBEE基準	LAND MARK ランドマーク 一級建築士事務所 愛知県知事登録 (い-21) 第9632号 一級建築士大臣登録 第244879号 堀 敏男 〒461-0040 名古屋市中区矢田一丁目9番29号 TEL (052) 725-3390 FAX (052) 725-3391	図番 K-4
									名住協地域型ブランド住宅推進協議会 <b>NagoyaCity Housing C.C.</b> 名古屋市住宅建設協同組合 愛知県知事認可(51指令通第4-8号)	スケール s:1/100 作成日 平成 24年 4月 25日	製図	現場名 地域ブランド事業【標準仕様】CASBEE基準	LAND MARK ランドマーク 一級建築士事務所 愛知県知事登録 (い-21) 第9632号 一級建築士大臣登録 第244879号 堀 敏男 〒461-0040 名古屋市中区矢田一丁目9番29号 TEL (052) 725-3390 FAX (052) 725-3391	図番 K-4





2階床水平構面伏図



小屋水平構面伏図

変更箇所	日付	担当	変更理由	承認	承認	検図	設計
改訂							

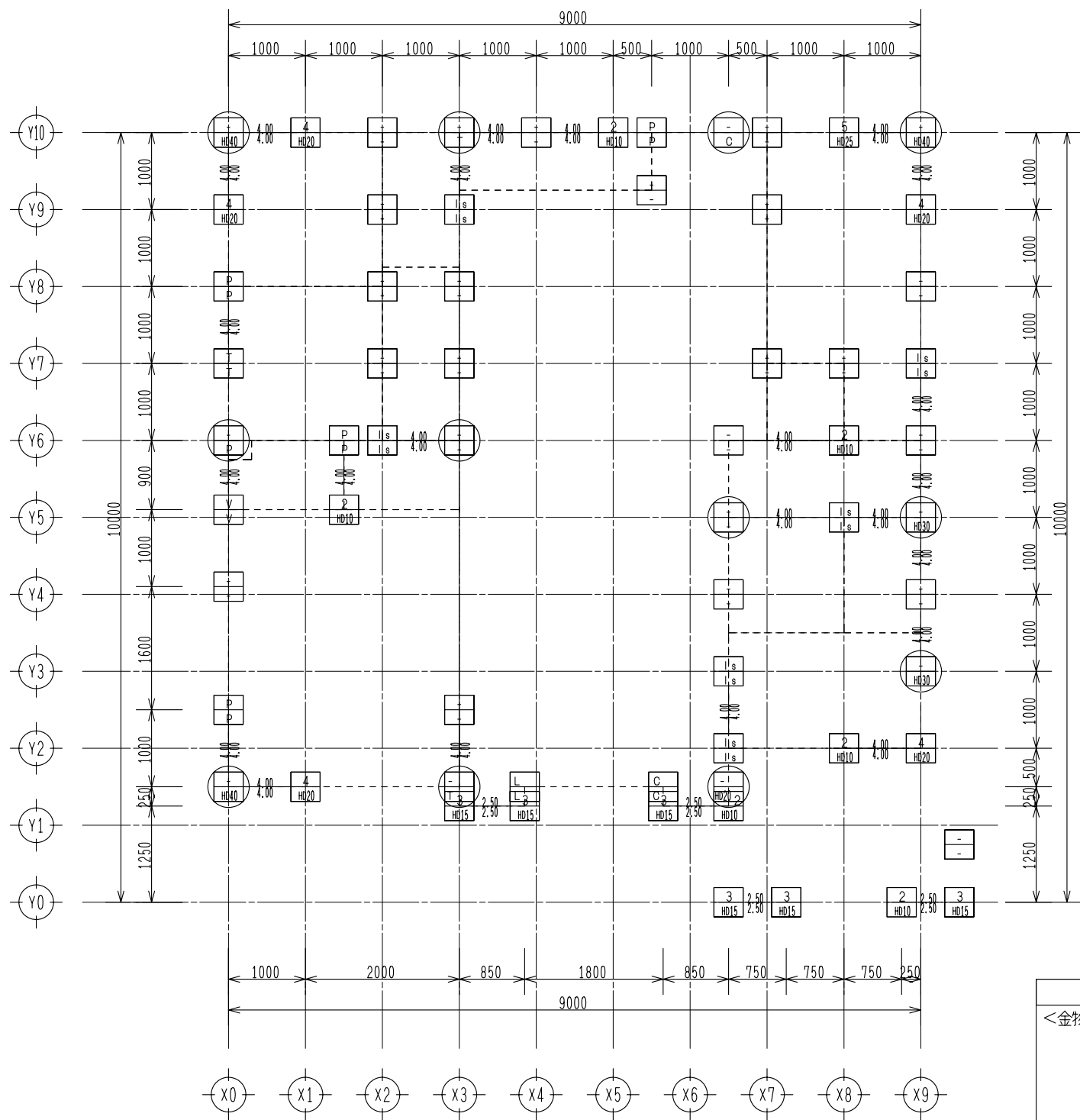
名住協地域型ブランド住宅推進協議会  
**NagoyaCity Housing C.C.**  
 名古屋市住宅建設協同組合  
 愛知県知事認可(51指令通第4-8号)

スケール  
 s:1/100  
 作成日  
 平成 24年 4月 25日

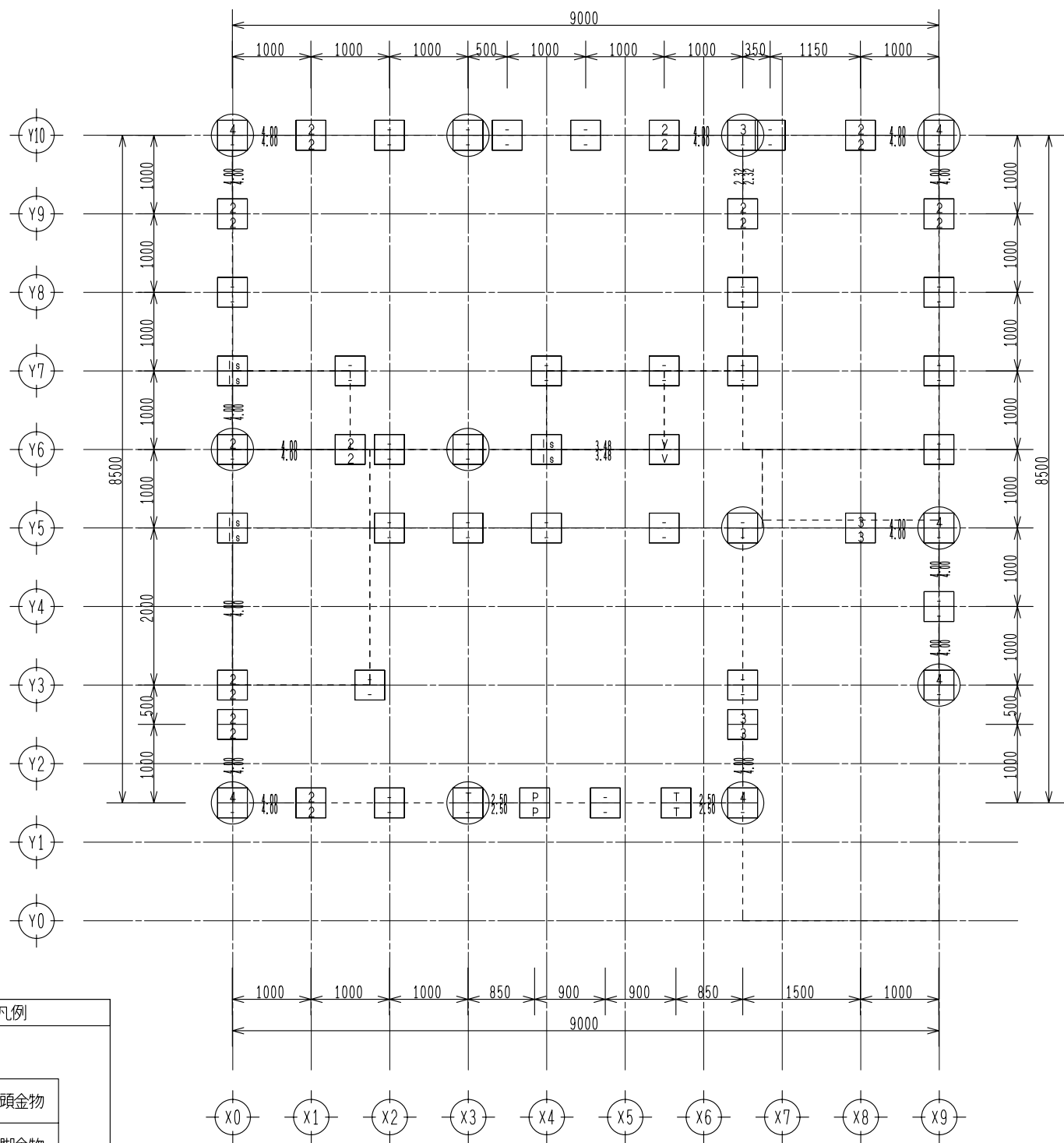
製図  
 現場名  
 地域ブランド事業【標準仕様】CASBEE基準  
 図名  
 2階床水平構面伏図・小屋水平構面伏図

LAND MARK  
 ランドマーク 一級建築士事務所  
 愛知県知事登録 (い-21)第 9632号  
 一級建築士大臣登録 第 244879号 堀 敏男  
 〒461-0040 名古屋市中区矢田一丁目9番29号  
 TEL (052) 725-3390 FAX (052) 725-3391

図番  
 K-6



1階柱頭柱脚金物配置図



2階柱頭柱脚金物配置図

凡例

<金物>

柱頭金物

柱脚金物

<耐力壁>

X+方向壁倍率

X-方向壁倍率

Y+方向壁倍率

Y-方向壁倍率

変更箇所	日付	担当	変更理由	承認	承認	検図	設計
改訂							

名住協地域型ブランド住宅推進協議会  
**NagoyaCity Housing C.C.**  
 名古屋市住宅建設協同組合  
 愛知県知事認可(51指令通第4-8号)

スケール  
 s:1/75  
 作成日  
 平成 24年 4月 25日

製図  
 現場名  
 地域ブランド事業【標準仕様】CASBEE基準  
 図名  
 柱頭柱脚金物配置図

LAND MARK  
 ランドマーク 一級建築士事務所  
 愛知県知事登録 (い-21) 第 9632 号  
 一級建築士大臣登録 第 244879 号 堀 敏男  
 〒461-0040 名古屋市東区矢田一丁目9番29号  
 TEL (052) 725-3390 FAX (052) 725-3391

図番  
 K-7

□建物諸元

建物階数	2階建	
建物用途	一戸建ての住宅	
建物規模	2階建	
工法	在来軸組工法	
基本モジュール	1000 mm	
屋根情報	標準の勾配	50 / 100
	垂木ピッチ	500.00 mm
	軒の出	600.00 mm
	ケラバの出	150.00 mm
軒高 (G.Lから)	1階	3570.00 mm
	2階	6555.00 mm
	3階	—
建物最高軒高	6555.00 mm	
建物最高高さ	8860.00 mm	
土台天端高さ	567.00 mm	
基礎高さ	400.00 mm	
床高 (土台天又は 軒高から)	1階	42.00 mm
	2階	42.00 mm
	3階	—
仕上げ	屋根	桧瓦
	外壁	サイディング張り
積雪の指定	多雪地域区分	一般
	単位荷重	20.00 N/cm/m ²
	風圧の同時検討	検討しない
	積雪深さ	30.00 cm
地盤・地業	地耐力	50.00 kN/m ²
	根入れ	270.00 mm
	地盤種別	第二種地盤
	地盤調査種別	現場調査
	地盤調査方法	スウェーデン式サウンディング試験
	基礎の構造	鉄筋コンクリート造
	鉄筋種類	SD-295A
	コンクリート種類	Fc=21
	地業	べた基礎
	凍結深度	—
46条・地震	46条の適用除外規定	除外しない
	屋根軽・重区分	重い屋根
	地震地域係数(Z)	1.00
	基準風速(V0)	34.00 m/s
	地表面粗度区分	Ⅲ

□使用材料表

No	部位	樹種	寸法(mm)	
			W	H
1	土台	同一等級集成材4枚(E95-F315)	105	105
2	大引き	同一等級集成材4枚(E95-F315)	105	105
3	管柱1階	同一等級集成材4枚(E95-F315)	105	105
4	管柱2階	同一等級集成材4枚(E95-F315)	105	105
5	通し柱1~2階	同一等級集成材4枚(E95-F315)	120	120
6	床梁	対称異等級集成材(E105-F300)	105	105~330
7	軒桁	対称異等級集成材(E105-F300)	105	150~240
8	小屋梁	対称異等級集成材(E105-F300)	105	150~240
9	胴差	対称異等級集成材(E105-F300)	105~120	210~330
10	母屋	対称異等級集成材(E105-F300)	105	105
11	垂木	S-P-F 2級	38	89
12	根太1階	針葉樹無等級(べいまつ)	45	60
13	根太2階	針葉樹無等級(べいまつ)	45	60
14	根太バルコニー	針葉樹無等級(べいまつ)	45	60
15	筋かい	針葉樹無等級(べいまつ)	45	105
16	小屋束	同一等級集成材4枚(E95-F315)	105	105

□許容応力度

樹種	許容応力度(N/mm ² )						ヤング係数 (N/mm ² )
	荷重及び区分	圧縮	引張	曲げ	せん断	めり込み	
同一等級集成材4枚(E95-F315)	基準強度	26.00	22.70	31.50	3.00	6.00	9310.00
	長期	9.53	8.32	11.55	1.10	2.20	9310.00
	短期(積雪時)	13.87	12.11	16.80	1.60	3.20	9310.00
	短期(地震・風圧)	17.33	15.13	21.00	2.00	4.00	9310.00
対称異等級集成材(E105-F300)	基準強度	23.20	20.20	30.00	3.00	6.00	10290.00
	長期	8.51	7.41	11.00	1.10	2.20	10290.00
	短期(積雪時)	12.37	10.77	16.00	1.60	3.20	10290.00
	短期(地震・風圧)	15.47	13.47	20.00	2.00	4.00	10290.00
◎ S-P-F 2級	基準強度	17.40	11.40	21.60	1.80	6.00	9600.00
	長期	6.38	4.18	7.92	0.66	2.20	9600.00
	短期(積雪時)	9.28	6.08	11.52	0.96	3.20	9600.00
	短期(地震・風圧)	11.60	7.60	14.40	1.20	4.00	9600.00
針葉樹無等級(べいまつ)	基準強度	22.20	17.70	28.20	2.40	9.00	9800.00
	長期	8.14	6.49	10.34	0.88	3.30	9800.00
	短期(積雪時)	11.84	9.44	15.04	1.28	4.80	9800.00
	短期(地震・風圧)	14.80	11.80	18.80	1.60	6.00	9800.00

改訂	変更箇所	日付	担当	変更理由	承認	承認	検印	設計	名住協地域型ブランド住宅推進協議会 <b>NagoyaCity Housing C.C.</b> 名古屋市住宅建設協同組合 愛知県知事認可(51指令通第4-8号)	スケール  作成日 平成 24年 4月 25日	製図  現場名 地域ブランド事業【標準仕様】CASBEE基準  図名 建物諸元・使用材料及び許容応力度(1)	LAND MARK ランドマーク 一級建築士事務所 愛知県知事登録 (い-21)第 9632号 一級建築士大臣登録 第 244879号 堀 敏男 〒461-0040 名古屋市東区矢田一丁目9番29号 TEL(052)725-3390 FAX(052)725-3391	図番 K-8



□柱頭・柱脚金物仕様

No	告示記号	表示記号	呼称	性能の根拠	接合部倍率	許容耐力 (kN)	使用可能部位			条件		詳細仕様
							1F HD	柱脚	柱頭	柱脚接合	柱頭柱脚共用	
1	(い)	C	かすがい打	Z承認	0.20	1.08		○	○	○		短ほぞ差し、かすがい打ち又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
2	(ろ)	L	L字型かど金物	Z承認	0.60	3.38		○	○	○		長ほぞ差し込み栓打ち若しくは厚さ2.3mmのL字型の鋼板添え板を、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ6.5cmの太め鉄丸釘 (C N65) を5本平打ちとしたもの
3	(は)	T	T字型かど金物	Z承認	0.95	5.07		○	○	○		厚さ2.3mmのT字型の鋼板添え板を用い、柱及び横架材にそれぞれ長さ6.5cmの太め鉄丸釘 (CN65) を5本平打ちとしたもの若しくは厚さ2.3mmのV字型の鋼板添え板を用い柱及び横架材にそれぞれ長さ9cmの太め鉄丸釘 (CN90) を4本平打ちとしたもの
4	(は)	V	山形プレート	Z承認	1.00	5.88		○	○	○		厚さ2〜3ミリメートルの鋼板を用い、柱及び横架材にそれぞれ長さ9センチメートルの太め丸くぎを4本平打ちしたもの。
5	(に)	P	羽子板ボルト	Z承認	1.40	7.50		○	○	○		厚さ3.2mmの鋼板添え板に径12mmのボルトを溶接した金物を用い、柱に対して径12mmのボルト締め、横架材に対して厚さ4.5mm、40mm角の角座金を介してナット締めをしたもの
6	(ほ)	Is	短冊金物+スクリュー	Z承認	1.60	8.50		○	○	○		厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、上下階の連続する柱に対してそれぞれ径12mmのボルト締め及び長さ50mm、径4.5mmのスクリュー釘打ちとしたもの
7	(へ)	2	10kN引寄金物	Z承認	1.80	10.00		○	○	○		厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト2本、横架材もしくは上下階の連続した柱に対して径16mmのボルトを介して緊結したもの
8	(へ)	HD10	10kNホールドダウン金物	Z承認	1.80	10.00	○					厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト2本、横架材もしくは上下階の連続した柱に対して径16mmのボルトを介して緊結したもの
9	(と)	3	15kN引寄金物	Z承認	2.80	15.00		○	○	○		厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト3本、横架材もしくは上下階の連続した柱に対して径16mmのボルトを介して緊結したもの
10	(と)	HD15	15kNホールドダウン金物	Z承認	2.80	15.00	○					厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト3本、布基礎に対して径16mmのボルトを介して緊結したもの
11	(ち)	4	20kN引寄金物	Z承認	3.70	20.00		○	○	○		厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト4本、横架材もしくは上下階の連続した柱に対して径16mmのボルトを介して緊結したもの
12	(ち)	HD20	20kNホールドダウン金物	Z承認	3.70	20.00	○					厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト4本、布基礎に対して径16mmのボルトを介して緊結したもの
13	(り)	5	25kN引寄金物	Z承認	4.70	25.00		○	○	○		厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト5本、横架材もしくは上下階の連続した柱に対して径16mmのボルトを介して緊結したもの
14	(り)	HD25	25kNホールドダウン金物	Z承認	4.70	25.00	○					厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト5本、布基礎に対して径16mmのボルトを介して緊結したもの
15	(ぬ)	HD30	15kNホールドダウン金物×2	Z承認	5.60	30.00	○					(と)に掲げる仕口を2組用いたもの
16	(ぬ)	HD40	20kNホールドダウン金物×2	Z承認	7.40	40.00	○					(ち)に掲げる仕口を2組用いたもの

□鉄筋及びコンクリート

鉄筋(基礎)	SD-295A
コンクリート(基礎)	設計基準強度 (Fc) : コンクリート Fc=21 N/mm ²

□許容応力度

材料	長期 (N/mm ² )			短期 (N/mm ² )		
	圧縮 fc	引張 ft	せん断 fs	圧縮 fc	引張 ft	せん断 fs
SD-295A コンクリート Fc=21 アンボルト M12	196.67 7.00	196.67 -	- 0.70 118.00	295.00 14.00	295.00 -	- 1.05 177.00

□耐力壁仕様

(a) 筋かい

No	筋かい種類	材種	シングル/ダブル	倍率			作画面状	接合金物仕様
				令4.6条	圧縮	引張		
1	◎ たすき掛筋かい(45×105)	木材	ダブル	4.00	4.00	4.00	0	筋違プレートBP2

(b) 面材

No	内外区分	自動生成対象	材料	最低厚さ (mm)	規格	釘打ちの方法		倍率	耐力壁種類	壁倍率算出係数 (準耐力壁の時)
						種類	間隔 (mm)			
1	外部	○	◎ JAS構造用合板(特類)9mm	9.00	JAS/S51告示第894号	N50	150.00以下	2.5	耐力壁	0.6

□水平構面仕様

(a) 2・3階床 水平構面仕様

No	表示記号	材料	最低厚さ (mm)	規格	釘打ちの方法		根太ピッチ (mm)	根太施工	倍率
					種類	間隔 (mm)			
1	吹抜	なし (0.00倍)	0.00			0.00以下	0以下		0.00
2	F16	構造用合板(根太ス) (1.80倍)	24.00			N75	150.00以下	0以下	1.80

(b) 火打ち水平構面仕様

No	表示記号	仕様	隅長 (mm)
1	H1	火打ち金物HB	750.00

火打ち水平構面の床倍率

表示記号	仕様	平均負担面積 (m ² 以下)		最低梁せい (mm以上)		床倍率
		2.50	240.00	2.50	150.00	
H1	火打ち金物HB	2.50	240.00	2.50	150.00	0.80
		2.50	240.00	2.50	105.00	0.60
		3.30	240.00	3.30	105.00	0.50
		3.30	240.00	3.30	240.00	0.48
		3.30	240.00	3.30	150.00	0.36
		5.00	240.00	5.00	105.00	0.30
		5.00	240.00	5.00	240.00	0.24
		5.00	240.00	5.00	150.00	0.18
		5.00	240.00	5.00	105.00	0.15

(c) 屋根水平構面仕様

No	表示記号	材料	最低厚さ (mm)	規格	釘打ちの方法		垂木ピッチ (mm)	垂木施工	勾配	倍率
					種類	間隔 (mm)				
1	R2	構造用合板(5寸勾配以下)	9.00	JAS/S51告示第894号	N50	150.00以下	500.00以下	転ばし	50/100	0.70

(d) 小屋水平構面仕様

No	表示記号	材料	最低厚さ (mm)	規格	釘打ちの方法		根太ピッチ (mm)	根太施工	倍率
					種類	間隔 (mm)			
1	1	構造用合板(根太ス) (4.00倍)	24.00		N75	150.00以下	0.00以下		4.00
2	2	構造用合板(根太ス) (1.80倍)	24.00		N75	150.00以下	0.00以下		1.80

□横架材端部接合部仕様

No	表示記号	名称	性能の根拠	許容耐力 (kN)
1	HB1	腰掛け蟻、大入れ蟻掛け+羽子板ボルト又は短冊金物	Z承認	10.10
2	HB2	腰掛け蟻、大入れ蟻掛け+羽子板ボルト×2又は短冊金物×2	Z承認	15.90